

脱炭素につながる新しい豊かな暮らしを創る国民運動



デコ活応援団（官民連携協議会） 第22回会合

令和8年9月11日(金)

<全体会合>

9月11日(金)13時00分～15時00分(予定) オンライン

【第1部（情報共有）：13:00～14:00】

- 1 デコ活応援隊からのお知らせ
 - (1) デコ活応援団の機能・目的
 - (2) 「デコ活」推進事業（補助金）2次公募の結果
 - (3) 予算要求の状況
- 2 デコ活共創ラボキャンペーン2026のお知らせ
 - (1) トークセッション・ワークショップ
 - (2) デコ活共創インサイトレポート
- 3 デコ活応援団からのご提案(別紙)
(ご提案) ティーエムエル株式会社／エコ・アクション・ポイント事務局、パナソニック エレクトリックワークス株式会社
Bizライター事務所／ゼロ塾ガイド、一般社団法人健康省エネ住宅を推進する国民会議
- 4 次回情報

【第2部（トークセッション）：14:00～15:00】

- 1 住宅分野の最新動向・採択事業に関する情報提供
- 2 住宅領域における行動変容の実現に向けた意見交換

<事業共創プログラム>

9月11日(金)15時15分～17時15分(予定) 現地 ※事前申込者のみ

■【第3部（ワークショップパート）：15:15～17:15】

1 デコ活応援隊からのお知らせ

(1) デコ活における目指す姿とデコ活応援団の目的・機能

- デコ活応援団は「脱炭素につながる新しい豊かな暮らしをつくる」ことを目指し、消費者の行動変容におけるボトルネックを解消し、**脱炭素につながる行動（新たな需要創出）の拡大**を目的とするものである

デコ活が目指す姿・目指すべき一般社会の状態

デコ活が 目指す姿

- **生活がより豊かに、より自分らしく快適・健康で、2050年ネット・ゼロ及び2030年度削減目標の実現を達成する**

国民・消費者 (需要)

- 脱炭素につながる行動が、消費者の生活文脈や本音にあった選択肢として自然と選択される状態

企業・団体 (供給)

- 国民・消費者が脱炭素につながる選択を自然とするような製品・サービス・機会を提供するモデルが自然発生していく状態

デコ活応援団の目的・機能

応援団の目的

消費者の行動変容におけるボトルネックを解消し、**脱炭素につながる行動（新たな需要創出）を拡大すること**

機能①課題・ボトルネックの共有

消費者の行動変容を妨げる要因を
デコ活応援団で共有・可視化

知らない・気づかない (情報)	選びにくい (選択環境)	利用しにくい (利便性)	メリットを実感できない (価値)	続けにくい・広がらない (継続・規範)
--------------------	-----------------	-----------------	---------------------	------------------------

機能②解消につながる取組の創出・実践

知見やリソースを持ち寄り、ボトルネックの解消につながる
製品・サービス・ライフスタイル・仕組みを共創・実装



アイデア
共有・創出



連携・共創



実践・実装



情報発信・
拡大

(2)「デコ活」推進事業（補助金）の状況

令和7年度補正予算・令和8年度当初予算

- デコ活補助金では2次公募で1件の採択を行いました。
- 採択関連情報を下記の執行団体のウェブサイトに掲載しておりますので、適宜、ご覧ください。

公募・採択状況

- 3/13～4/15 一次公募 13件の応募の中から、審査委員会を経て7件を採択**
(広域規模4件・地域規模3件)
※地域規模1件辞退
- 6/19～7/1 二次公募 4件の応募の中から、審査委員会を経て1件を採択 (広域規模)**

補助金の概要

- 【マッチングファンド方式（連携協働型社会実装助成方式）】
事業実施主体2（複数主体による連携事業でヒト・モノ・カネ等を持ち寄り）：国1（リスクマネー提供）
を上限に定額補助
【補助上限額】
・広域規模事業 3億円（二以上の都道府県で多数の主体への効果が見込まれるもの）
・地域規模事業 1億円（一都道府県内での効果が見込まれるもの）

補助金執行団体

一般社団法人地域循環共生社会連携協会

※詳細は、以下のウェブサイトからご確認ください。

[一般社団法人地域循環共生社会連携協会（一般社団法人低炭素社会創出促進協会）\(rcespa.jp\)](https://rcespa.jp)

二酸化炭素排出抑制対策事業費等補助金（「デコ活」（脱炭素につながる新しい豊かな暮らしを創る国民運動）推進事業）2次公募 採択事業者

くらしの 10年 ロード マップ関 係箇所		代表事業者名	共同事業者名	事業名
住	広域 規模	東北電力株式会社	株式会社 長内建築事務所 有限会社 大平建設 株式会社 リアルウッド 有限会社 キーポイントホーム 株式会社 喜多山工務店 平野商事 株式会社 株式会社 札幌社 株式会社 リバスト 株式会社 ジョイホーム 株式会社 日沼工務店 株式会社サンコーホーム 株式会社寺沢工務店 長町住宅展示場（緑と風のガーデン） ミヤギテレビ仙台港総合住宅展示場（エコノハ）	寒冷地向け電化機器による脱炭素化の 推進

(3) 予算要求の状況 (「デコ活」による脱炭素社会実装事業)

【令和9年度要求額 2,269百万円 (1,759百万円)】

「新しい豊かな暮らし」とその先にある「脱炭素目標の達成」を実現します。

1. 事業目的

国民・消費者の行動変容を促し、2030年度に2013年度比46%（特に家庭部門では66%）削減及び2050年ネット・ゼロを実現することを目的とする。このために、「デコ活」の推進を通じた「新しい豊かな暮らし」を支える製品・サービスを社会実装するためのプロジェクトの展開、脱炭素型ライフスタイルへの転換に向けた検討、地球温暖化対策の推進に関する法律に基づく地域支援を実施する。

2. 事業内容

(1) デコ活推進に係る社会実装型取組等支援

- ① デコ活の推進のためのプラットフォームであるデコ活応援団（官民連携協議会）を運営し、自治体・企業・団体・消費者等と連携を図りながら、デコ活を推進する。
- ② 戦略的なPR・コミュニケーションを実施し、ターゲティング等により効果的な情報発信を強化する。
- ③ マッチングファンド方式により、民間の資金やアイデア等を動員し、脱炭素にとどまらない資源循環やネイチャーポジティブも含めた生活領域全般における「新しい豊かな暮らし」を支える製品・サービスを効果的・効率的に社会に実装するためのプロジェクトを実施する。
- ④ 脱炭素製品・サービスの需要創出に向け、当該製品等の消費者への効果的な価値訴求方法等についてのモデル実証を行う。

(2) 地球温暖化対策の推進に関する法律に基づく地域支援

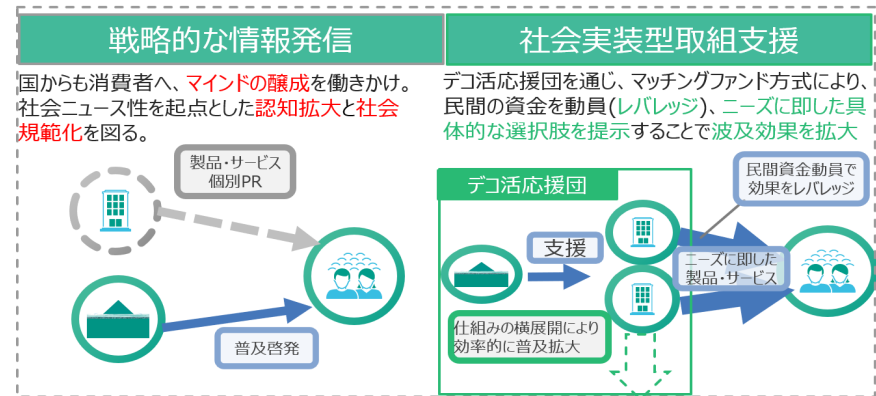
温対法第39条及び第38条に基づき、全国地球温暖化防止活動推進センター（デコ活ジャパン）及び地域地球温暖化防止活動推進センター（デコ活ローカル）による、地域特性・生活環境に応じた、地域に根差した行動変容を促すための「デコ活」に即した取組を実施する。

3. 事業スキーム

- 事業形態： (1) 委託事業・間接補助事業（補助率 定額（1/3相当））
(2) 委託事業・間接補助事業（補助率 5/10）
- 委託先： 委託事業：民間事業者・団体等
- 補助対象： 補助事業：地方公共団体、民間事業者・団体等
- 実施期間： (1) 令和6年度～令和12年度 (2) 令和6年度～

4. 事業イメージ

戦略的な情報発信と、自治体・企業・団体等と連携した消費者の行動変容を図る社会実装型取組支援の両輪により推進



官民連携の下、衣食住/移動/買い物など、暮らしのあらゆる領域において「脱炭素につながる新しい豊かな暮らし」を強力に後押し

2 デコ活共創ラボキャンペーン2026のお知らせ

デコ活共創ラボキャンペーン2026（実施期間：2026年6月～12月）

■ デコ活応援団の皆様を強力にサポートするデコ活共創ラボキャンペーン2026を実施中

実装する

共創活動・伴走支援の強化



キャンペーン期間中、
計50事業者を支援！

■ デコ活補助金

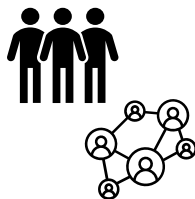
- ① 広域規模事業：上限 3 億
- ② 地域規模事業：上限 1 億
(事業者・団体等 2 : 国 1 以内とする定額)

■ 案件組成支援等の強化

- ✓ 補助金活用も見据え、マッチング・案件立ち上げから伴走支援
- ✓ 最適なマッチング支援にあたり、ニーズ・シーズ調査を実施

つなげる

デコ活応援団の共創機会強化



■ 関連企業間のネットワーキング

- ・ ワークショップ
- ・ トークセッション
- ・ 交流会

広げる

デコ活関連情報発信の強化



- 共創事例の発信
- 最新情報・トレンド情報の発信
- 最新インサイトレポートの発信

デコ活応援団参画者が得られるメリット

- ❗ 補助金も活用した事業の創出・拡大
- ❗ 新たなパートナーとのネットワーキング・ビジネスチャンスの拡大
- ❗ 最新情報・最新事例の収集

デコ活補助金の活用に向けた伴走支援

実装する：共創活動・伴走支援の強化

デコ活補助金とは…

概要

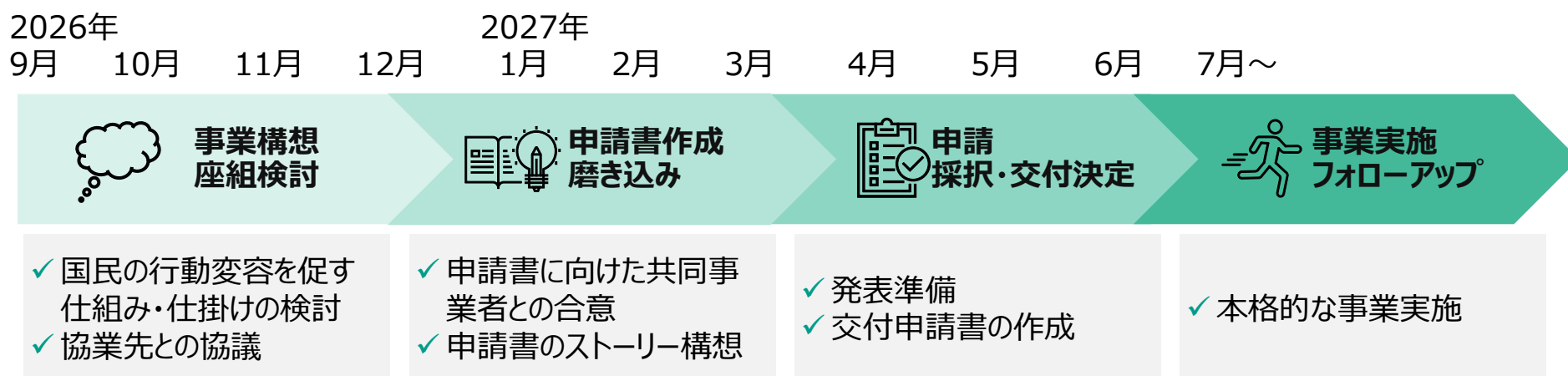
- 国民の行動変容やライフスタイル転換を通じた暮らしの改善及び温室効果ガス削減等の環境保全効果が継続的に見込める連携協働型の社会実装に向けたプロジェクトであって、**各主体が連携協働して需要サイドのボトルネックを構造的に解消する仕掛けを国民に提供する事業に要する経費の一部を補助**

補助額

- ① 広域規模事業 **上限 3 億円** ※事業者・団体等 2：国 1 以内とする定額
- ② 地域規模事業 **上限 1 億円** ※事業者・団体等 2：国 1 以内とする定額 （参考：令和8年度デコ活補助金情報）

補助金活用スケジュール

※スケジュールは一例であり、この限りではありません。



事業構想から申請書の作成、採択後の自走化まで一気通貫で伴走支援

トークセッション・共創ワークショップの開催

つなげる：デコ活応援団の共創機会強化



トークセッション

本日14:00～開催
@ Zoomウェビナー



脱炭素の取組の最新動向を学び、
自社のアイデア創出につなげる

本日の実施内容（住宅分野）

登壇者

住宅関連有識者：エコワークス株式会社 小山氏
デコ活補助金採択事業者：住友不動産株式会社
三重県

議題

1. 住宅分野の脱炭素製品の価値を、生活者にどう伝えれば行動変容を生み出せるか
2. 実際に取り組む中で見てきた、現場での気づき・つまずき・突破口



共創ワークショップ

本日15:15～開催 ※事前応募者対象
@ 東京ミッドタウン日比谷 日比谷三井タワー



参画企業の強みや課題を持ち寄り、
共創活動のきっかけを作る

本日の実施内容（住宅分野）

参加者

住宅分野に関連する自治体・企業・団体

議題

1. 課題解決に資する取組・サービスの決定と実現に向けた座組形成
2. ビジネスモデル検討を通じたキャッシュポイント・継続性の整理

参画団体間のコミュニケーションを活性化し、共創を加速させる

次回12/18は食・買分野で開催予定

広げる：デコ活関連情報発信の強化



デコ活共創インサイトレポート

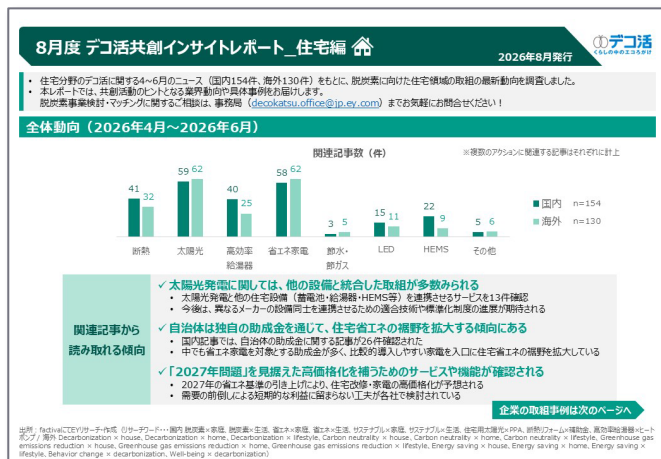
8月よりデコ活共創インサイトレポートの発行を開始しました。

本レポートでは、事務局にて調査したデコ活に関連する記事から読み取れる最新動向やデコ活応援団・海外企業の取組事例（座組・ビジネスモデル）を紹介しています！

デコ活応援団専用サイトおよび当該分野に取り組む応援団参画者限定のメールマガジンからご覧いただけます

全体動向

- ✓ 記事数から、各分野のトレンドを把握する
- ✓トレンドを踏まえ、今後の取組の方向性のヒントを得る



事例紹介

- ✓ 各分野で脱炭素に取り組むプレーヤー・座組を把握する
- ✓ 脱炭素に取り組む企業のビジネスモデルを知る

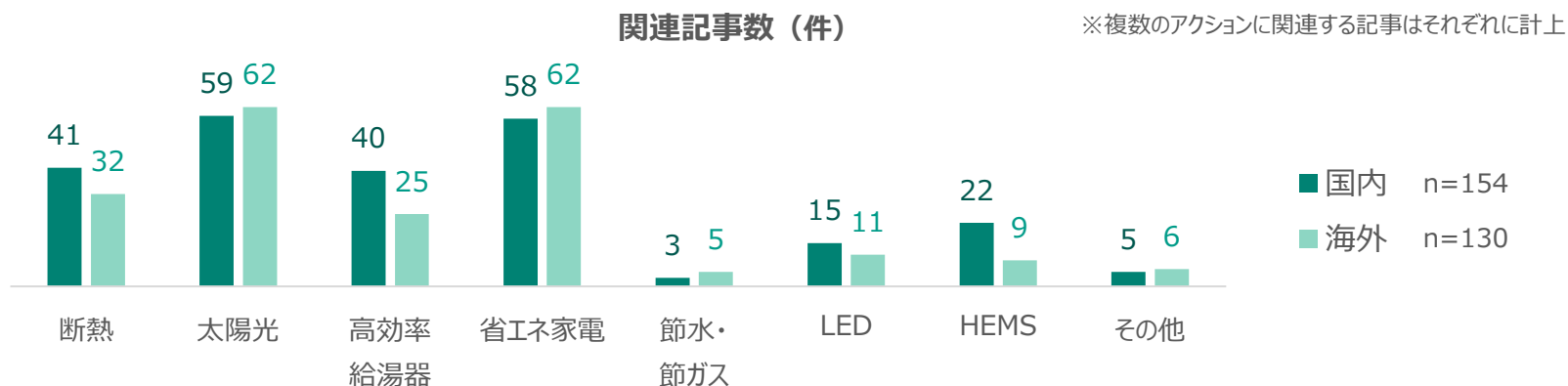


各分野の最新動向・取組事例を通じて、共創活動のヒントを提供

9月度は食・買分野で発行予定！

- 住宅分野のデコ活に関する4～6月のニュース（国内154件、海外130件）をもとに、脱炭素に向けた住宅領域の取組の最新動向を調査しました。
 - 本レポートでは、共創活動のヒントとなる業界動向や具体事例をお届けします。
- 脱炭素事業検討・マッチングに関するご相談は、事務局（decokatsu.office@jp.ey.com）までお気軽にお問合せください！

全体動向（2026年4月～2026年6月）

関連記事から
読み取れる傾向

✓ 太陽光発電に関しては、他の設備と統合した取組が多数みられる

- 太陽光発電と他の住宅設備（蓄電池・給湯器・HEMS等）を連携させるサービスを13件確認
- 今後は、異なるメーカーの設備同士を連携させるための適合技術や標準化制度の進展が期待される

✓ 自治体は独自の助成金を通じて、住宅省エネの裾野を拡大する傾向にある

- 国内記事では、自治体の助成金に関する記事が26件確認された
- 中でも省エネ家電を対象とする助成金が多く、比較的導入しやすい家電を入口に住宅省エネの裾野を拡大している

✓ 「2027年問題」を見据えた高価格化を補うためのサービスや機能が確認される

- 2027年の省エネ基準の引き上げにより、住宅改修・家電の高価格化が予想される
- 需要の前倒しによる短期的な利益に留まらない工夫が各社で検討されている

企業の取組事例は次のページへ

事例紹介～共創活動のヒント～

✓ 共創活動のヒントとなる先進的な事例をご紹介します。異業種が連携する座組や、連携によって脱炭素への貢献と収益性を両立させるビジネスモデルを、今後の取組の参考としてご覧ください！

国内 | 太陽光・HEMS

2026年5月～

座組 東京ガス株式会社(電力) × Shizen Connect社(エネルギーテック)
取組 東京ガスの顧客基盤・エネルギーマネジメントのノウハウとShizen Connect社のプラットフォームを組み合わせ、**家庭用蓄電池や太陽光発電など家庭内の多様な分散型エネルギーリソースを統合・制御するアグリゲーションサービスを拡充**。自動制御により電力の消費量を削減し、消費者に経済的メリット（光熱費削減）として還元

出所：PR TIMES <https://prtimes.jp/main/html/rd/p/000001436.000021766.html>(2026/8/5アクセス)

国内 | 太陽光・高効率給湯器・HEMS

2026年度中～

座組 リンナイ株式会社(住宅設備メーカー) × 東京ガス株式会社(電力)
取組 リンナイは、東京都の「家庭用アグリゲーションビジネス実証事業」を活用し、**電気ヒートポンプとガス給湯器を組み合わせる高い省エネ性能を発揮するハイブリッド給湯器「ECO ONE」のデマンドレスポンス（DR）実証を実施予定**。リンナイは機器を遠隔制御するシステムを構築し、東京ガスは電力需給に応じた給湯器の制御を担う

出所：ガスエネルギー新聞 <https://www.gas-enenews.co.jp/eigyo/61350/>(2026/8/5アクセス)

国内 | 太陽光・高効率給湯器・HEMS

2026年4月～

座組 ダイキン工業株式会社(住宅設備メーカー) × グリッドシェアジャパン株式会社(エネルギーテック)
取組 ダイキンの遠隔制御システムとグリッドシェアジャパンのAIプラットフォームを連携し、**電気料金プラン、家庭ごとの電力使用状況、天候に基づいてAIが太陽光発電量を予測し、家庭用ヒートポンプ給湯機「エコキュート」の沸き上げ時間を自動最適化する「グリッドシェアサービス」を開始**

出所：新エネルギー新聞 <https://www.newenergy-news.com/?p=52380/>(2026/8/5アクセス)

国内 | 省エネ家電

2024年12月～  補助金活用

座組 三重県(自治体) × 旭建材株式会社(建材) × 株式会社百五銀行(金融) × 三重県電器商業組合(家電販売) × 三重日産自動車株式会社(自動車販売)
取組 県とみえデコ活連携パートナーとが連携し、**リアルとデジタルのマッチング・プラットフォームを構築**。脱炭素製品のメリットを知らない県民に対して製品情報や体感・体験できる機会を提供

第22回デコ活応援回会合(9/11)にて登壇予定！

国内 | 太陽光

2026年5月～

座組 TGオクトパスエナジー株式会社(電力) × タクトホーム株式会社(住宅メーカー)
取組 オクトパスエナジーは、タクトホームにおける住宅建設時の仮設電源を非化石電源に切り替え、契約・請求の一元化による電力管理及びGHG排出量集計業務の効率化を実現。加えて、**タクトホームが供給する住宅にて初期費用ゼロ・従量課金型の太陽光発電サービスを提供し、建設段階から居住後まで一貫した脱炭素化を推進**

出所：PR TIMES <https://prtimes.jp/main/html/rd/p/000000115.000087134.html>(2026/8/5アクセス)

国内 | 断熱・太陽光・HEMS

2026年5月～

座組 積水化学工業株式会社住宅カンパニー(住宅メーカー)
取組 積水化学工業住宅カンパニーは、GX志向型住宅対応の子育て世帯向け賃貸住宅「HEIM MAISON-GX」を発売。**太陽光発電により光熱費を抑え、入居者の負担軽減とオーナーの安定経営を両立するとともに、IoTを活用した防犯システムの搭載やHEMSを活用した省エネ性能・利便性の向上を実現し、快適な住まいを提供**

出所：日本経済新聞 https://www.nikkei.com/article/DGXZRSPT06782_R10C26A5000000/(2026/8/5アクセス)

国内 | 断熱

2025年7月～  補助金活用

座組 住友不動産株式会社 × 住宅開口部グリーン化推進協議会 × YKK AP株式会社 × 株式会社LIXIL × 三協立山株式会社 × 三協テック株式会社 × 住友不動産ハウジング株式会社 × JBN・全国工務店協会(住宅関連の業界団体・企業)
取組 断熱・省エネリフォームの認知拡大及び普及を目的とした**業界横断の「断熱・省エネリフォーム推進タスクフォース」を組成し、PR施策、営業力強化、技術力強化を実施**

第22回デコ活応援回会合(9/11)にて登壇予定！

海外 | 太陽光

2026年5月～

座組 Octopus Energy Limited社(電力)
取組 Octopus Energyは、住宅に設置した太陽光発電や蓄電池の経済的メリットを家主と入居者で共有する社会住宅向け新料金プラン「Tenant Power」をロンドンで開始。**入居者の電気料金を年間約200ポンド削減しつつ、家主にも収益を還元することで設備投資を促進**

出所：BirminghamLive <https://www.birminghammail.co.uk/news/cost-of-living/octopus-energy-announces-first-households-33977698> (2026/8/5アクセス)

3 デコ活応援団からのご提案

連携実践プロジェクトの新規提案

- 新たに4件の連携実践プロジェクトの提案がありました。連携先を募集しておりますのでご関心のある方は、事務局までご連絡ください

プロジェクト内容

参加企業・団体

「場・機会」の提供者

「製品・サービス」の提供者

企業・団体名

期待される役割

企業・団体名

期待される役割

インセンティブ

エコ・アクション・ポイントを活用した「デコ活アクション」推進プロジェクト

- エコ・アクション・ポイントは、2008年に環境省が創設した制度です。
- 環境に配慮した行動に対して付与できる全国共通の環境ポイントであり、脱炭素社会の実現に向けた取り組みを後押ししています。
- エコ・アクション・ポイントに関するガイドライン等に基づき、CO2削減量を登録、見える化することが可能です。

提案者

ティーエムエルデ株式会社

- アプリやSNSでの実施内容を告知
- 環境イベントの企画、実施
- 実証実験の企画・運営

企業/団体/
国・自治体

- 環境に配慮した行動（温暖化対策、資源回収、自然保護など）を推進したい自治体、事業者、団体との連携を希望します

連携先募集：
随時

提案者

ティーエムエルデ株式会社

- 環境に配慮した行動に対してインセンティブを付与できるシステムの提供
- フリーダイヤルのコールセンターにて、会員からの問合せの対応
- 地域通貨との連携も可能

企業/団体/
国・自治体

- 実証実験、トライアルでのご利用も可能です
- アプリを使って、環境に良い行動を、楽しみながら続けていただけます

連携先募集：
随時

LED

パルクLEDラインランプ搭載LED照明を通じた家庭用照明のLED化加速

- 27年で製造輸出が禁止となる蛍光灯代替照明としてLED化の加速が急務です。
- 丸形蛍光灯代替となる主照明のシーリングライトなどはLED化が57%と比較的進むも、直管蛍光灯の主用途であるキッチンなどの設備照明はLED化が22%と遅れ気味。
- 一方、現在市販されるランプ交換のみのLED直管などは組合せを誤ると発煙発火リスクがあり、たびたび報道されています。
- 今回新開発のラインランプ搭載器具を通じ、交換可能で安全なLED化を進めて参ります

提案者

パナソニックEW(株)
ライティング事業
部ライフスタイル
ライティングBU

- LED照明全般に関する製品開発
- 自社サイト、広報を通じた情報発信
- (LED化提案、安全啓発他)
- 販売店様連携で売場づくり、および店員様向け商品&施工ノウハウ支援

企業/団体/
国・自治体

- 家庭用住宅照明におけるLED化への後押しとなる住民向け啓発活動及び購入補助金などの支援（自治体）
- 弊社補助金検索サイト
<https://www2.panasonic.biz/jp/terasu/subsidy/>

連携先募集：
随時

提案者

パナソニックEW(株)
ライティング事業
部ライフスタイル
ライティングBU

- 主に家電量販・HC店員様向けの施工型照明研修素材（商品・ノウハウ）
- 売り場づくり支援、助成物他（大手量販・HC想定）

企業/団体/
国・自治体

- 施工型照明全般に関する積極的な取り組み（売り場拡大など）と店員様のリテラシー向上に繋がる研修協力（協働）（大手量販・HC想定）

連携先募集：
随時

連携実践プロジェクトの新規提案

- 新たに4件の連携実践プロジェクトの提案がありました。連携先を募集しておりますのでご関心のある方は、事務局までご連絡ください

プロジェクト内容

参加企業・団体

「場・機会」の提供者

「製品・サービス」の提供者

企業・団体名

期待される役割

企業・団体名

期待される役割

AI時代の情報発信で会員の脱炭素の取組を『見つかる』形にするインタビュー発信プロジェクト

- ・ 会員企業・団体の脱炭素の取組をオンライン取材し、無償で記事化
- ・ ChatGPT・Google AI Overviews等のAI検索に引用されやすい構造で発信し、取組の認知拡大に貢献
- ・ 取組がAI・検索経路で露出／記事の二次利用可／費用負担なし

提案者

Bizライター
事務所

- ・ 自社メディアでの記事掲載・発信の場の提供

提案者

Bizライター
事務所

- ・ オンライン取材／記事制作／AI引用最適化（LLMO）

企業/団体/
国・自治体

- ・ 脱炭素の取組に関する取材機会のご提供（オンライン30～45分）

連携先募集：
随時

実効性のある熱中症・ヒートショック対策の勧め

- ・ 実効性のある熱中症・ヒートショック対策の勧め
- ・ 省庁や自治体内の医療・福祉・環境・住宅施策に横ぐし総合政策提言
- ・ 地域の医療・福祉環境建築団体連携による実装計画提言
- ・ 上記関係者による資料を医療福祉関係者を軸に啓発
- ・ 地域住民から信頼される知識・技術モラルを有する住宅専門家を育成

提案者

一社）健康省
エネ住宅を推
進する国民会
議

- ・ 厚労省・環境省・林野庁や医療福祉建築団体リーダー参加の国交省補助委員会と地域組織を融合
- ・ 中央・地方の行政・専門家団体のネットワーク構築

提案者

一社）健康省
エネ住宅を推
進する国民会
議

- ・ 関係省庁は個々の政策の観点から補助金や広報等で協力
- ・ 団体は各地の医療・建築自治体協議会に役員派遣
- ・ 企業は積極的に人材育成に協力

連携先募集：
随時

- ・ 医師会・薬剤師会・歯科医師会・看護協会・背後支援専門員協会等一医療法に基づく患者の立場に立ち、寄り添う専門家として個々の症状に合わせた住まい方や住宅海鮮に関する助言を行い、改修希望者には地域で育成した住宅の専門家リストを提供（生活指導と連携建築の紹介）
- ・ 介護改修を行う主要団体一断熱改修に関する有識者や研修と倫理規定を受け入れる地元住宅関係者ネットワークの構築（介護保険の延長の断熱改修モデルの構築）
- ・ 地元の住宅関係者の中から国民会議の医療建築有識者講習資格を受講する建築士、建設業登録者を活用予定

4 次回情報

第23回デコ活応援団会合

日時：

- **令和8年12月18日(金)13時～15時(予定)** オンライン

議事内容（現時点想定）：

- 情報提供
 - デコ活応援隊からのお知らせ
 - デコ活応援団からのご提案・ご報告
 - 関連府省庁等からの情報提供
- トークセッション（食・買分野）

情報提供・トークセッションの様子を収めたアーカイブ動画を後日共有いたします。
現地にて、共創ワークショップ（食・買分野）やネットワーキングも実施します。

アンケートのお願い

第22回デコ活応援団会合に関するアンケートにご協力ください

- 次回（第23回）デコ活応援団会合に向けた連携実践プロジェクトの提案
- デコ活応援団の活動に関するご意見・ご提案

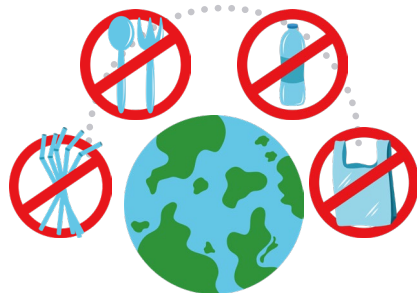
令和8年9月18日(金)までにご回答お願いします。リンク：https://globaleysurvey.ey.com/jfe/form/SV_3KjeUWFg5mJD5Lo

參考資料

「デコ活」（脱炭素につながる新しい豊かな暮らしを創る国民運動）とは

- 2050年ネット・ゼロ及び2030年度削減目標の実現に向け、2022年10月に発足した国民のみなさまの**行動変容・ライフスタイル転換**を強力に後押しするための新しい国民運動です。
- 脱炭素につながる将来の豊かな暮らしの全体像・絵姿をご紹介するとともに、**国・自治体・企業・団体等が連携**し、国民のみなさまの新しい暮らしを後押しします。

脱炭素の実現に向け、暮らし、ライフスタイルの分野でも大幅なCO₂削減が求められます。



しかし、国民のみなさまの行動に具体的に結びついていない状況です。



①例えば10年後など、脱炭素につながる**将来の豊かな暮らしの全体像、絵姿**をお示しします。



②国、自治体、企業、団体等で共に、**国民のみなさまの新しい暮らしを後押し**します。



国際的（G7・G20等）にも

- ・ 日本から**製品・サービスをパッケージにした新しいライフスタイル**の提案・発信
- ・ **官民連携によるライフスタイル・イノベーション**の国際協調を提案・発信



国内での新たな消費・行動の喚起とグローバルな市場創出を促します。

「デコ活」の全体像（脱炭素につながる将来の豊かな暮らしの絵姿）

- 今から約10年後、**生活がより豊かに、より自分らしく快適・健康**で、そして2030年温室効果ガス削減目標も同時に達成する「新しい豊かな暮らし」を提案をします。



新国民運動の愛称「デコ活」

- 2023年7月に愛称が「デコ活」に決定し、同年8月、ロゴマーク、メッセージ、アクション等も決定しました。



愛称

国民に広く公募し（8,200件の応募）、愛称公募選定会議で「デコ活」※に決定（生みの親↑）
※二酸化炭素(CO₂)を減らす(DE)脱炭素(Decarbonization)と環境に良いエコ(Eco)を含む"デコ"と活動・生活を組み合わせた新しい言葉

◆ ロゴ・メッセージ・アクション



- ◆ “くらしの10年ロードマップ”を策定
進捗フォローアップを行い計画的に実行

デコ活アクション まずはここから

- デ 電気も省エネ 断熱住宅
- コ こだわる楽しさ エコグッズ
- カ 感謝の心 食べ残しゼロ
- ツ つながるオフィス テレワーク

「くらしの10年ロードマップ」の策定

- デコ活応援団における協議やパブリックコメントの内容を踏まえ、2024年2月に「くらしの10年ロードマップ」を策定しました。

策定の背景

「新資本主義実行計画（R5.6.16閣議決定）」に基づき、国民のみなさまの行動変容・ライフスタイル転換を促し、脱炭素につながる新しい価値創造・豊かな暮らしを実現するために必要な方策・道筋を示すべく策定しました。

※「新資本主義実行計画（R5.6.16閣議決定）」における記載内容

「脱炭素につながる新しい豊かな暮らしをつくる国民運動」を通じ、国民・消費者の行動変容・ライフスタイル変革等を促すため、グリーンライフ・ポイントやナッジの活用等も含めたロードマップを2023年度中に策定する。」

分野と今後

絵姿に基づき、暮らしの全領域（衣食住・職・移動・買物）を7つの分野に分けました。

① 住[外]	住宅の省エネ化・再エネ導入 (断熱化、太陽光発電等)	② 住[内]	エコグッズの選択 (LED、家電、給湯、節水等)	③ 衣	クールビズ・ウォームビズ、サステナブルファッションの実践	④ 買・食	地産地消、適量購入・食べきりごみの削減・分別	⑤ 職	テレワークの実践	⑥ 移	電動車の購入 環境負荷がより少ない移動手段の選択	⑦ 基盤	情報（教育・ナッジ）インセンティブ
-----------	-------------------------------	-----------	-----------------------------	--------	------------------------------	----------	------------------------	--------	----------	--------	-----------------------------	---------	-------------------

進捗は毎年、フォローアップを行い、必要に応じて取組・対策を強化します（PDCAサイクルの着実な実施）。なお、その際、必要な項目は「家庭CO₂統計」等を利用し、効率的かつ効果的な調査や把握を行います。

また、中間地点で進捗評価を行い、必要に応じてロードマップを見直します。

「くらしの10年ロードマップ」(概要)

- 初めて**国民・消費者目線**で、**脱炭素につながる豊かな暮らしの道筋**（課題と仕掛け）を**全領域**（衣食住・職・移動・買物）で明らかにし、**官民連携**により行動変容・ライフスタイル転換を促進します。

国民にとっての**ボトルネック**

意欲

導入メリット・意義が不明
昔のイメージのまま敬遠
手間・難しさの忌避感
問題への理解・関心不足

実践

初期費用・大規模支出
導入に時間がかかる
機会・情報が限定・不十分
慣習・制度が実践を妨ぐ

課題解消に向けた**仕掛け** (主な対策)

2024~2026

2027~2029

2030~

メリット・意義、最新情報を導入機会と同時に伝達（商業・公共施設等を体験・体感の場に）

新築/既存住宅リフォーム+太陽光発電設備・高効率給湯器等のパッケージ化

住

商品・ブランド別のエシカル度の見える化

衣

サステナブルツアー（出張・旅行 等）、カーボンオフセット付き旅行保険等

移

科学的情報等を行動とセットで提供（DXを活用したワクワク感、楽しさなどの動機付け）

基盤

サブスクリプション型サービスやPPA・リース、環境配慮型ローン等の提供拡大

公的支援情報を分かりやすく提供し、複数補助制度の一括申請の受付を拡大

住

通常リフォームに合わせた+aの断熱、家電販売時の省エネ・再エネのパッケージ提案

住

リペア、アップサイクル・染め直し等、衣類の交換会、回収リサイクルの場の拡大

衣

フードシェアリング、フードドライブ・フードバンク活動、エシカル商品サービス等の拡大

買・食

テレワークとマッチするよう必要に応じてルール見直し、必要なサービス・インフラ・情報提供

職

データ活用した行動見える化、デマンドレスポンス、住民・従業員へのインセンティブ拡大

基盤

費用対効果に優れた気付き・ナッジの提供

基盤

行動制約

行動変容・ライフスタイル転換

「デコ活」における連携・サポートの例

- 「デコ活」における主な連携・サポートは、以下のとおりです。
- 詳細は、ポータルサイト（<https://ondankataisaku.env.go.jp/decokatsu/>）をご確認ください。

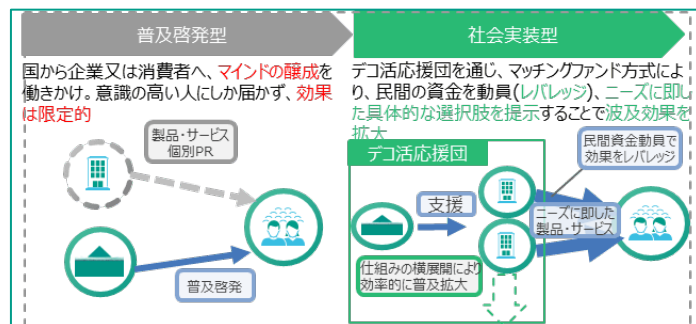
●「デコ活応援団」による連携・マッチング



●脱炭素型「取組・製品・サービス」の発信



●「補助金」による社会実装型取組支援



●「デコ活応援隊」による後押し・サポート



官民連携でみなさまの行動変容・ライフスタイル転換を後押しします！



環境省 地球環境局 デコ活応援隊(脱炭素ライフスタイル推進室)

[隊長(室長)] 細貝

[担当] 難波、郡司、水品、海上、堀越、岩尾、鈴木、若松
中野、大津、山内、中村

住所:〒100-8975 東京都千代田区霞が関1-2-2

E-mail:decokatsu@env.go.jp TEL:03-5521-8341(直通) ※土日祝除く



デコ活応援団事務局(EYストラテジー・アンド・コンサルティング株式会社(EY))

E-mail:decokatsu.office@jp.ey.com TEL:050-3033-2248 (直通)※土日祝除く

※デコ活応援団に関することはなんでもご連絡ください！



デコ活ローカル (地域地球温暖化防止活動推進センター)

全国に59か所、どこでも相談が無料でできます。各デコ活ローカルの連絡先等はこちらから！

デコ活ジャパン (全国地球温暖化防止活動推進センター)

※全国各地で身近な相談先をお求めであればこれらの機関にご連絡ください！